

# 人と人との営みがあってこそその Society5.0

新たな社会  
“Society 5.0”

5.0



昨年度にもお伝えしましたように、日常的に **Society5.0** という言葉を聞くようになりました。我が国が目指す未来社会である「**超スマート社会**」のことです。内閣府の第5期科学技術基本計画では超スマート社会では「**経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会**」と定義づけています（左図は総務省による超スマート社会のイメージ）。

## Society5.0を創造するのにも利用するのにも “人の心”

Society5.0では、情報通信技術（ICT）やインターネットにつなげた自動車や家電（IoT）、人工知能（AI）等を活用します。年末には宇城市で**自動運転バス**の運用が試行されていました。地域によっては、**ドローン**による生活物資の空輸も日常化しています。社会の課題**解決**や便利で**幸福**な生活実現への期待が高まっています。

定義にあるように、Society5.0は「**人間中心**」の社会です。その人間がICTに飲み込まれ、間違った情報やAI技術で**言論**や**生命の危機**にさらされたら、幸福どころか**不幸**になります。実際に、世界中の選挙や戦争等においてSNSの弊害による“不幸”が顕著になってきています。それらは科学技術の発達が悪いわけではありません。利用している人間の**心の未発達**、**相手意識の欠如**が原因です。

## 将来の社会を担う子どもたちの心の育成を大切に



十数年後、現在の芳野小学校の子どもたちは、社会を担う世代にあります。それまでに、よりよい社会を創造する一員としての**資質**を身につけていてくれるとうれしいです。予測困難な社会の課題を解決するためには、論理的に**思考**したり正しく**判断**したり、また、正しく理解して**表現**したりする力が必要です。それらと関連しながら**課題発見力**や**解決力**等を身につけるとありがたいです。

しかし、それ以上に大切なものがあります。それは**自尊心**や自分と異なる考えを持つ人との**協働性**、困難に対する**忍耐性**等です。左図の「**学びに向かう力**、**人間性等**」の**涵養**です。この**人間性**は、軽視できない資質能力です。

## 芳野小学校の子どもたちには「芳野愛」も育みながら



【「芳野学」の緑化推進活動「きくばり活動」】

芳野小学校は、芳野中学校と同じ教育目標を掲げ、**道徳教育**や**人権教育**、「**芳野学**」における体験活動等で「**ふるさと『芳野』を誇りに思う**」心情も育みながら、上記の力の育成を目指しています。特に「**芳野学**」は地域内外の方と接する「**人と人との営み**」でもあります。その営みでは、**豊かな感性**、ふるさとや人を**尊重**する心、—「**芳野小『まごころ』運動**」でいう「**『ことば』の心**」—を育み、**真の創造者**の礎を築きます。

令和6年度の登校日数が**十数日**となりました。本年度の学びを**まとめ**、新年度の子どもたちの**次の成長**を思い描きながら、社会人になった芳野小の子どもたちが**真の「人間中心」**であるよりよい Society5.0を創造し、豊かに生きていくために、授業等**全ての教育活動**をとおして、**調和**の取れた**資質・能力**を育ててまいります。

〔修了式〕 六年生は三月十九日、五年生以下の子どもたちは三月二十四日です。〔卒業証書授与式〕三月二十一日です。三年生以下の子どもたちは指定休業日です。